

ノリ養殖環境速報 KH-30-1 (播磨灘) 平成30年11月2日 発行

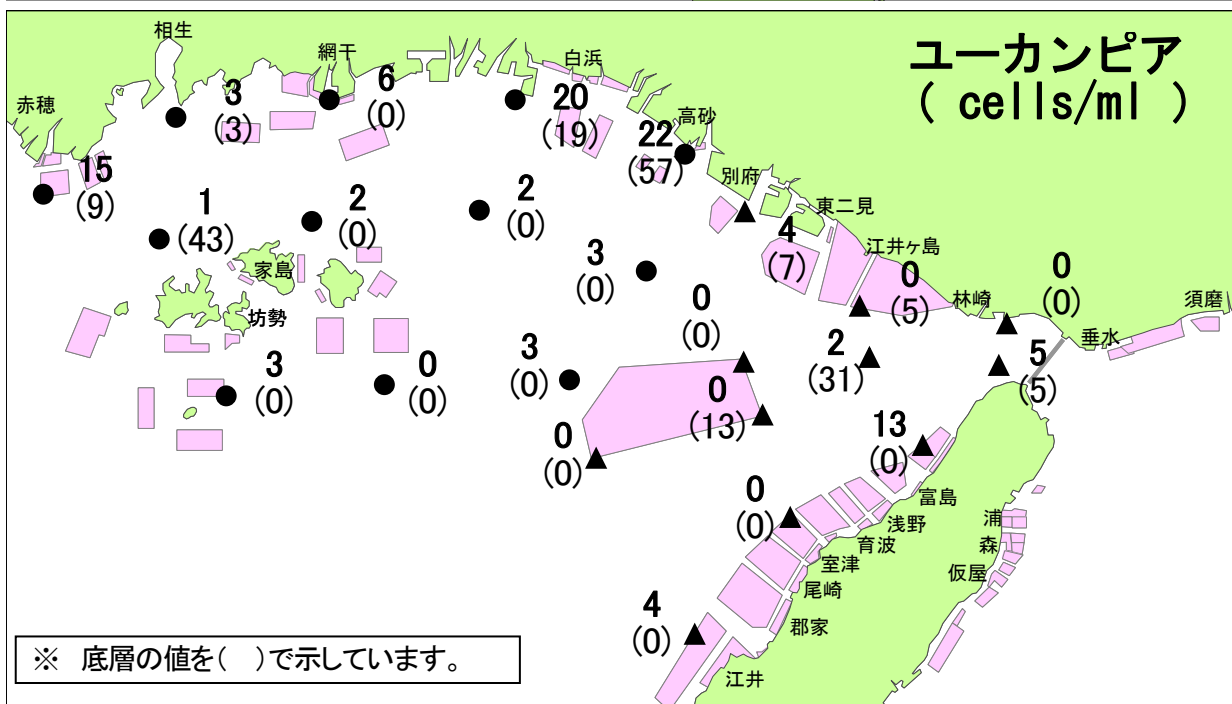
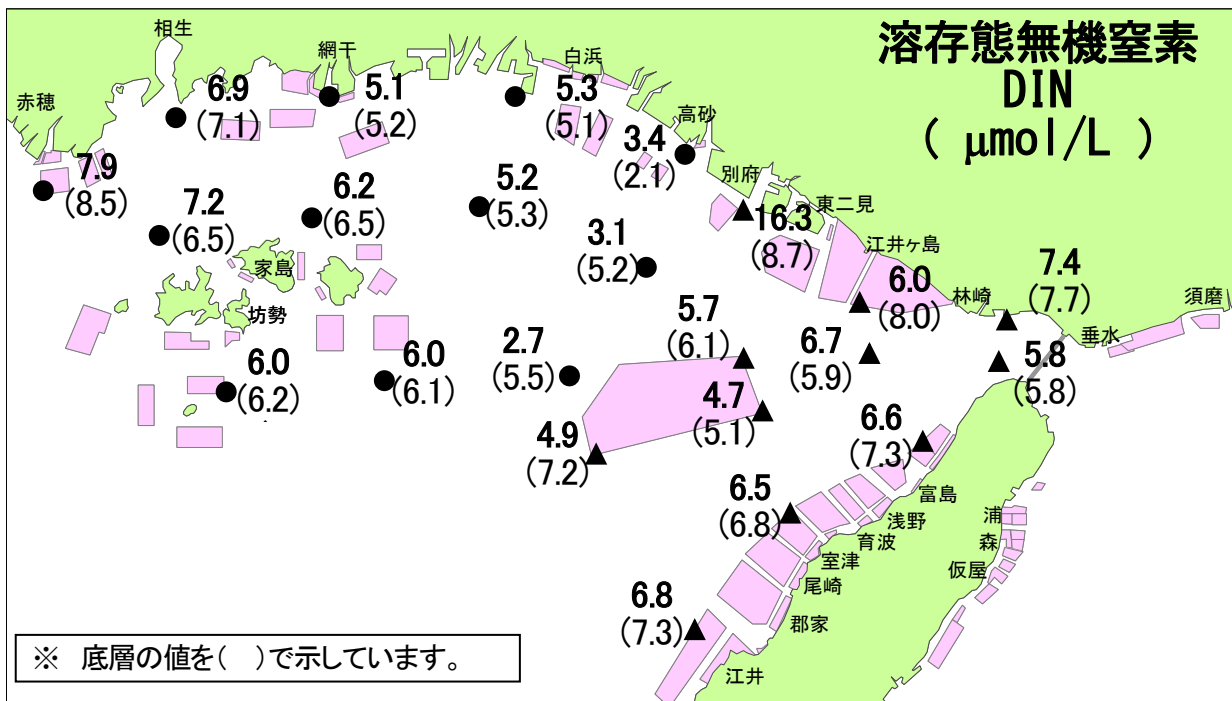
調査年月日：平成30年10月31日

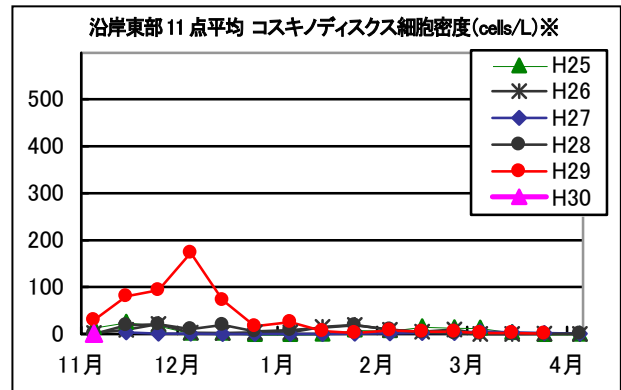
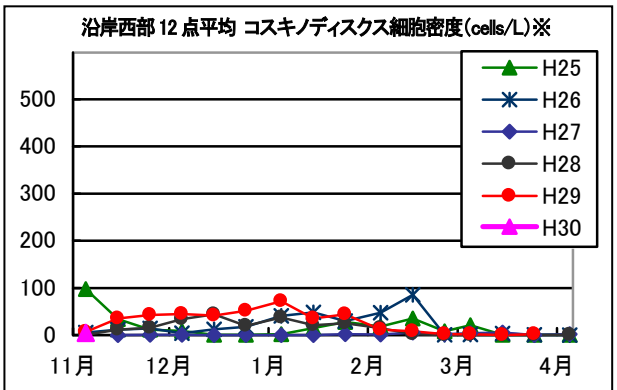
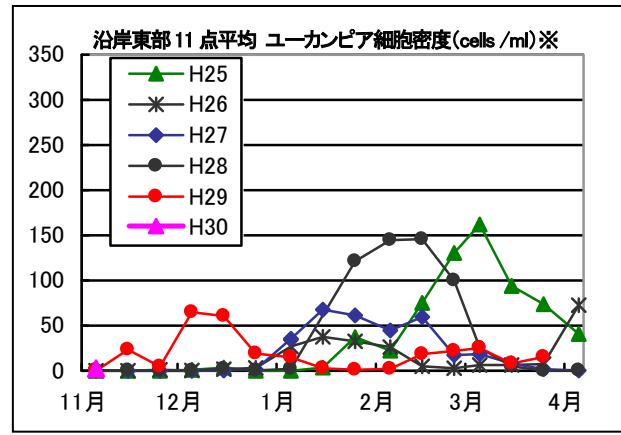
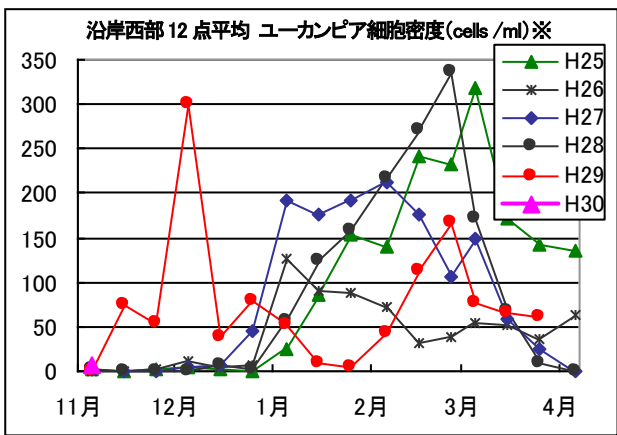
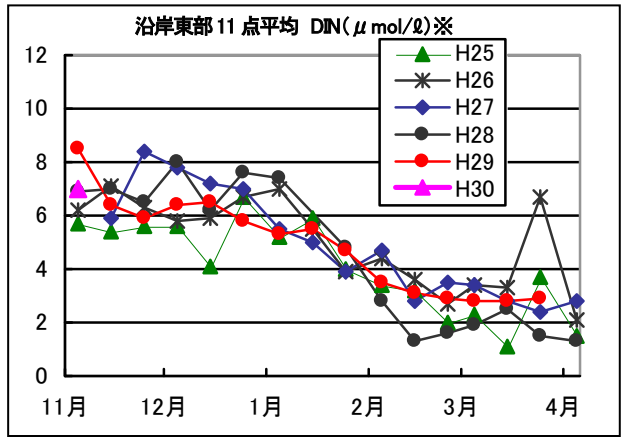
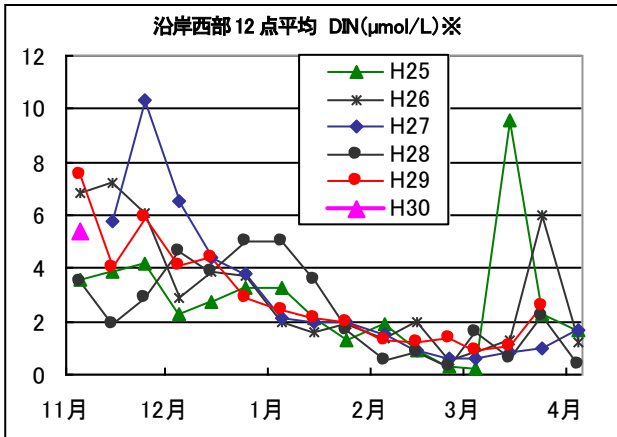
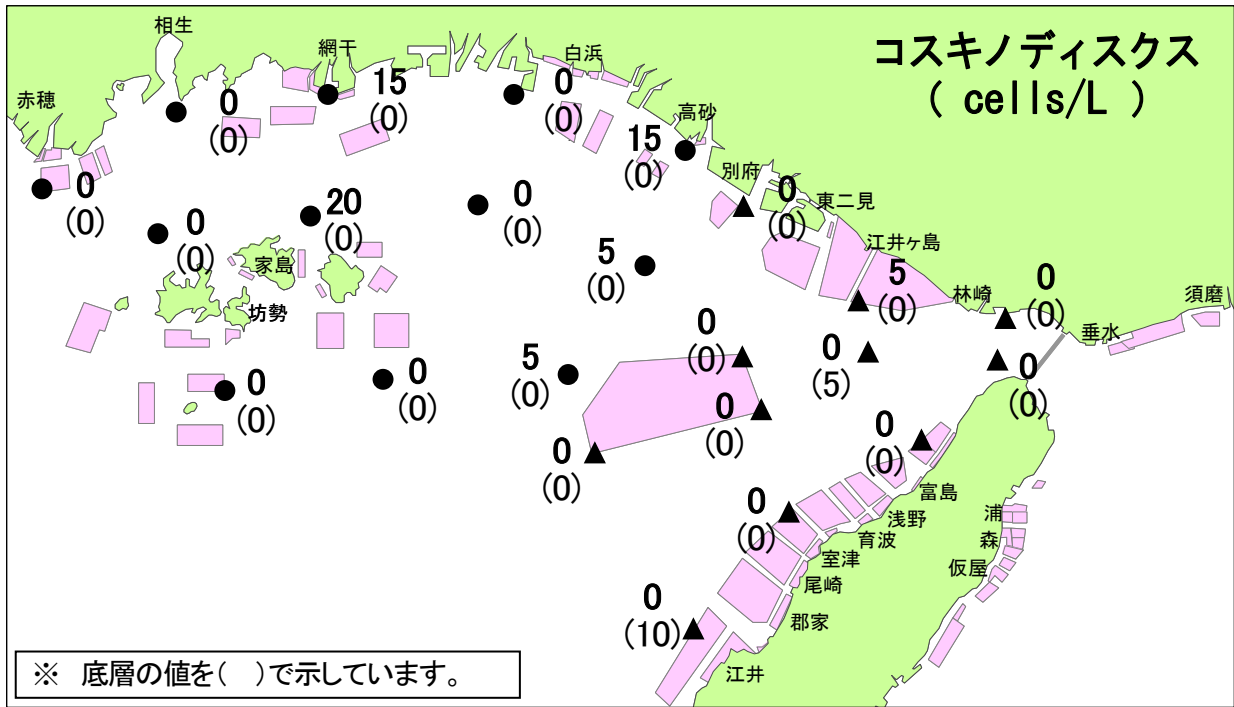
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、5~8 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています(ただし、一部の海域では3 $\mu\text{mol/L}$)。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーやユーカンピアは確認されていますが、数は少ない状況です。

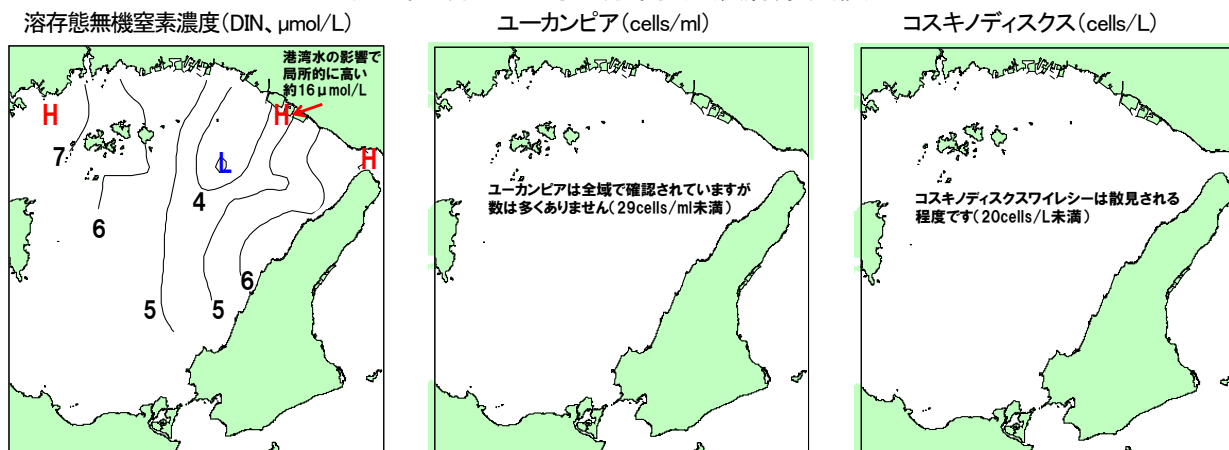
水温は、白浜以西では20.4~22.2 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では20.8~21.7 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で21.4~21.6 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では21.3~21.5 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では21.3~21.4 $^{\circ}\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年10月31日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

鉛直混合期に入っていますが、10月の降水量が少なかったこともあり、表層のDIN濃度は5~8 $\mu\text{mol/L}$ でした(ただし、一部の海域では3 $\mu\text{mol/L}$ 程度)。北部沿岸海域では多様な珪藻類が比較的多く発生しています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーやユーカンピアは確認されていますが、栄養塩濃度に影響を与える数ではありません。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みとされており、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持~やや上昇傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁11月1日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(11/2~11/8)の近畿地方は、期間のはじめは高気圧に覆われておおむね晴れますが、その後は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨となるでしょう。

最高気温は、明後日(3日)にかけては平年並か平年より低いですが、その後は平年より高く、平年よりかなり高い日がある見込みです。最低気温は、期間のはじめは平年並か平年より低いですが、その後は平年より高く、平年よりかなり高い日が多いでしょう。

降水量は、平年並の見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査(10/25)では、牛窓沖のDIN濃度は5 $\mu\text{mol/L}$ 台でした。大型珪藻(コスキノディスクスやユーカンピア)の出現は少ない状況です。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L}$ = $\mu\text{g}\cdot\text{at/L}$ = μM

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成30年11月13日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>